

子育て支援論

科目ナンバリング CHS-201
選択必修 2単位

芦澤 清音

1. 授業の概要(ねらい)

日本の子育ての現状と課題、および、子育て支援の実際について学び、その必要性と意義について理解を深める。

少子化が進み、子育て支援にかかる政策が次々と実施されているにもかかわらず、依然として、子育て困難は深刻な社会的問題となっている。本授業では、子育て困難の社会的背景を考え、子育て支援にかかる政策及び制度を概観した上で、子育て困難の心理的側面について理解を深める。その中には、虐待の問題などについても取り上げる。さらに、身近な地域における子育て支援の取り組みなどについて学ぶ。

2. 授業の到達目標

子育て困難と子育て支援の現状と課題について理解している。子育て支援の制度や専門機関の役割について理解している。

3. 成績評価の方法および基準

毎回の授業課題 70%、まとめレポート30%

4. 教科書・参考文献

教科書

特定のテキストは使わず、適宜資料を配布する。

5. 準備学修の内容

専門機関などの状況を調べて授業での発表なども隨時行う

6. その他履修上の注意事項

子育て支援について、普段から関心を持ち、積極的に情報を取り入れるようにしてもらいたい。

7. 授業内容

【第1回】	ガイダンス 授業の進め方、評価について
【第2回】	少子化と子育て困難
【第3回】	子育て困難の時代① 育児不安
【第4回】	子育て困難の時代② 多様な家庭背景
【第5回】	子育て困難の時代③ 児童虐待
【第6回】	子育て困難の時代④ 虐待をしてしまう親について考える
【第7回】	子育て困難の時代⑤ 困難を抱える子どもの子育て
【第8回】	子育て困難の時代⑥ 子育てとICT
【第9回】	専門機関での子育て支援の実際① 母子保健の実際(保健センターの役割)
【第10回】	専門機関での子育て支援の実際② 地域子育てひろば活動について
【第11回】	専門機関での子育て支援の実際③ 相談機関での支援
【第12回】	子育て支援制度の変遷と地域の子育て支援
【第13回】	日本の子育てと海外の子育て
【第14回】	日本の子育て支援の課題
【第15回】	まとめ:新たな子育ての可能性